

## 参考資料



総プロ・プロ研・事項立一覽

研究課題名	研究期間								分科会 担当部会	研究課題区分			
	22	23	24	25	26	27	28	29		総プロ	プロ研	事項	
地震動情報の高度化に対応した建築物の耐震性能評価技術の開発	■	■	■	■					H22～25	その他	●	●	
気候変動下での大規模水災害に対する施策群の設定・選択を支援する基盤技術の開発	■	■	■	■					H22～25	第一部会		●	●
道路交通の常時観測データの収集、分析及び利活用の高度化に関する研究		■	■	■					H23～25	第一部会		●	
地域における資源・エネルギー循環拠点としての下水処理場の技術的ポテンシャルに関する研究		■	■	■					H23～25	第一部会			●
密集市街地における協調的建て替えルールの策定支援技術の開発	■	■	■	■					H22～25	第二部会			●
建築実務の円滑化に資する構造計算プログラムの技術基準に関する研究	■	■	■	■					H22～25	第二部会			●
再生可能エネルギーに着目した建築物への新技術導入に関する研究		■	■	■					H23～25	第二部会		●	●
都市計画における戦略的土地利用マネジメントに向けた土地適性評価技術に関する研究 —集約型都市(コンパクトシティ)の形成に向けて—		■	■	■					H23～25	第二部会		●	●
高齢者の安心居住に向けた新たな住まいの整備手法に関する研究		■	■	■					H23～25	第二部会			●
アジア国際フェリー輸送の拡大に対応した輸送円滑化方策に関する研究	■	■	■	■					H22～25	第三部会		●	●
大規模広域型地震被害の即時推測技術に関する研究		■	■	■	■				H23～26	第一部会		●	●
中古住宅流通促進・ストック再生に向けた既存住宅等の性能評価技術の開発		■	■	■	■				H23～26	その他	●	●	
国際バルク貨物輸送効率化のための新たな港湾計画手法の開発		■	■	■	■				H23～26	第三部会			●
津波からの多重防護・減災システムに関する研究(プロ研課題名) ・災害対応を改善する津波浸水想定システムに関する研究(事項立て課題名)(H23～25) ・沿岸都市の防災構造化支援技術に関する研究(事項立て課題名)の一部(H24～26)		■	■	■	■				H23～26	第一部会		●	●
超過外力と複合的自然災害に対する危機管理に関する研究			■	■	■				H24～26	第一部会		●	●
大規模土砂生産後の流砂系土砂管理のあり方に関する研究			■	■	■				H24～26	第一部会		●	
ICTを活用した人の移動情報の基盤整備及び交通計画への適用に関する研究			■	■	■				H24～26	第一部会			●
沿岸都市の防災構造化支援技術に関する研究 (一部☆を含む)			■	■	■				H24～26	第二部会			●
外装材の耐震安全性の評価手法・基準に関する研究			■	■	■				H24～26	第二部会			●
建物火災時における避難安全性の算定法と目標水準に関する研究			■	■	■				H24～26	第二部会			●
木造3階建学校の火災安全性に関する研究		■	■	■	■				H23～26	第二部会		●	
持続可能な社会・経済・生活を支える社会資本の潜在的役割・効果に関する研究				■	■	■			H25～27	第一部会		●	
道路インフラと自動車技術との連携による次世代ITSの開発				■	■	■			H25～27	第一部会		●	
大規模地震災害時における最低限の下水道機能維持・早期復旧に関する研究(プロ研課題名) ・下水道施設の戦略的な耐震対策優先度評価手法に関する調査(事項立て事前評価時課題名)				■	■	■			H25～27	第一部会		●	●
地域の住宅生産技術に対応した省エネルギー技術の評価手法に関する研究				■	■	■			H25～27	第二部会			●
港湾地域における津波からの安全性向上に関する研究(プロ研課題名) ・港湾域外域における津波からの安全性向上に関する研究(事項立て事前評価時課題名)				■	■	■	■		H25～28	第三部会		●	●
東日本大震災によって影響を受けた港湾域の環境修復技術に関する研究				■	■	■	■		H25～28	第三部会		●	●
港湾分野における技術・基準類の国際展開方策に関する研究				■	■	■			H25～27	第三部会		●	●
電力依存度低減に資する建築物の評価・設計技術の開発				■	■	■			H25～27	その他	●	●	
災害拠点建築物の機能継続技術の開発				■	■	■	■		H25～28	その他	●	●	
社会資本等の維持管理効率化・高度化のための情報蓄積・利活用技術の開発				■	■	■	■		H25～28	その他	●	●	
津波防災地域づくりにおける自然・地域インフラの活用に関する研究					■	■	■	■	H26～28	第一部会			●
リスクマネジメントの観点を組み込んだ維持管理の持続性向上手法に関する研究					■	■			H26～27	第一部会		●	●
非構造部材の安全性評価手法の研究 評価時課題名:非構造部材と構造部材の統一的な安全性評価のための設計規範の研究					■	■			H26～27	第一部会		●	
巨大地震に対する中低層建築物の地震被害軽減技術に関する研究					■	■	■	■	H26～28	第二部会		●	●
都市の計画的な縮退・再編のための維持管理技術及び立地評定技術の開発					■	■	■	■	H26～28	第二部会		●	●
住生活満足度の評価構造に基づく住宅施策の効果的実施手法に関する研究					■	■	■	■	H26～28	第二部会			●
地震時の市街地火災等に対する都市の脆弱部分及び防災対策効果の評価に関する研究					■	■	■	■	H26～28	第二部会		●	●
空港舗装の点検・補修技術の高度化に関する研究					■	■	■	■	H26～28	第三部会		●	●
【新規要求課題】													
下水処理場の既存施設能力を活用した汚水処理システムの効率化に関する研究					■	■	■		H27～29	第一部会			●
気候変動下の都市における戦略的災害リスク低減手法の開発 評価時課題名:気候変動下の災害リスク情報に基づく低リスク社会構築手法の開発					■	■	■		H27～29	第一部会			●
リアルタイム観測・監視データを活用した高精度土砂災害発生予測手法の研究					■	■	■		H27～29	第一部会			●
みどりを利用した都市の熱的環境改善による低炭素都市づくりの評価手法の開発					■	■	■		H27～29	第二部会			●
共同住宅等における災害時の高齢者・障がい者に向けた避難支援技術の評価基準の開発					■	■	■		H27～29	第二部会			●
地震誘発火災を被った建築物の安全性・再使用性評価法に関する研究					■	■	■		H27～29	第二部会			●
海上輸送の構造変化に対応したコンテナ航路網予測手法の開発					■	■	■		H27～29	第三部会			●
公的賃貸住宅及び地域居住支援機能の戦略的ストックマネジメント技術の開発					■	■	■		H27～29	その他	●		
	22	23	24	25	26	27	28	28			総プロ	プロ研	事項

凡例

■:研究期間      ■:第一部会 評価対象課題      ■:第二部会 評価対象課題      ■:第三部会 評価対象課題

※分科会担当部会の「その他」については本省主催の評価委員会にて行う。

平成26年度第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）  
事前評価シート

評価者	〇〇〇〇 委員
評価日	平成26年 月 日

課題名 〇〇

研究期間 平成〇〇年度～平成〇〇年度

研究代表者 〇〇研究部 〇〇〇〇

<評価の視点と項目>

必要性、効率性、有効性について、以下の観点を踏まえ、国総研にて実施すべきか事前評価を行う。

【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等

【効率性】計画・実施体制の妥当性等

【有効性】新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献、人材の育成等

<コメント>

※実施すべきか、一部修正して実施すべきか、再検討すべきかについて、何れかに○を記載願います。

①実施すべき / ②一部修正して実施すべき / ③再検討すべき

※上記評価の視点と項目からの評価、研究を実施するに当たっての留意事項、及びその他について記述願います。

平成26年度 第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）  
事後評価シート

評価者	〇〇〇〇 委員
評価日	平成26年 月 日

課題名 〇〇

研究期間 平成〇〇年度～平成〇〇年度

〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇研究部 〇〇〇〇

<評価の視点と項目>

必要性、効率性、有効性について、以下の観点を踏まえ、自己点検結果をもとに事後評価を行う。  
 【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等  
 【効率性】計画・実施体制の妥当性等  
 【有効性】目標の達成度、新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献、人材の育成等

<評価の結果>

評価項目	評価指標（何れかに○を記載願います。）	コメント
研究の実施方法 と体制の妥当性	1 適切であった 2 概ね適切であった 3 やや適切でなかった 4 適切でなかった	
目標の達成度	1 十分に目標を達成できた 2 概ね目標を達成できた 3 あまり目標を達成できなかった 4 ほとんど目標を達成できなかった	

その他特筆すべき点  
 （目標設定の妥当性、研究成果の活用方針、科学的・技術的意義、本研究の総合評価等）

（副次的成果、次につながる成果について、特筆する事項がございましたらご記入願います。）

※評価に当たっては<評価の結果>の評価指標欄のいずれかに○を付けていただき、その補足としてコメントをご記入願います。評価項目の評価の他に必要に応じて「その他特筆すべき点」にご記入願います。

